

社協さくら

第162号
編集・発行

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

発行人 谷田部 満

〒285-0013

佐倉市海隣寺町87番地 社会福祉センター2F

TEL 043-484-6197 FAX 043-486-2518

URL <http://www.sakurashakyo.or.jp>

誰でも、いつでも、どこでも手軽に出来るボランティア

第29回 ボランティアのつどい

佐倉市ボランティア連絡協議会（V連）と佐倉市社会福祉協議会共催の「第29回ボランティアのつどい」が2月11日（祝・金）に志津コミュニティセンターで行われた。

「ボランティアのつどい」は、佐倉市内で活躍するボランティアの交流の場、日頃の活動を発表する場として、また、多くの市民がボランティアを知り、参加するきっかけ作りにもなると毎年行われています。

当日は、雪やみぞれの悪天候にもかかわらず、老若男女、障がいのある人もない人も元気に参加され、会場は600人を超える人でにぎわいました。

市内の小中学校の収集活動状況や、プルタブ、ペットボトルキャップがどのように、車いすやワクチンになるのかを調べたり、V連の収集活動状況を展示しました。誰でも、いつでも、手軽に参加できるボランティアのつどい、取り入れて欲しいというメッセージを込めました。こんなことでもボランティアなんだと気づく、キーワードを探し出すスタンパラリーも行われました。

今年のテーマは「こんなこともボランティア」



かわいい歌声が響いた オープニングセレモニー

佐倉市ボランティア連絡協議会会長の開会宣言後、昨年V連30周年を記念して作られた歌「あなたの声を聞かせて」を、渡辺京子さんのピアノと編曲により、清掃活動サクラ・スマイル・サーピスとダンスグループ「F.O.S.S.」



体験コーナーは1月に事前学習会を行って、ア

ブースと体験コーナー

実行委員のみなさんによる合唱がありました。歌詞「あなたの心の声よ、とどいて」のように子どもたちの澄んだ歌声は、きつと会場のみなさんの心に届いたと思います。大ホールと2階には、17ボランティア団体と個人・7つの福祉施設のブースが開設されました。参加者とゲームを通して活動を紹介したり、活動資金づくりを兼ねた物品販売など終日賑わいを見せていました。福祉施設の手作り品販売（パン・クッキー・焼き菓子・陶器・野菜・園芸用の土など）も定着し、毎年楽しみに参加される方もいるそうです。



盛り上がったステージ

午後9時の短い時間でしたが、多くの方が参加体験されました。ステージ上で、昼食時には「ひの木太鼓」の子

草笛演奏「ハッピー。はっぱ」は訪問している施設の方がたと、日ごろの練習成果を発表しました。「手話ダンス虹」も賛同してのコラボレーション。舞台の上は圧巻の総勢40名。「りんごの歌」「四季の歌」など年配者にはなつかしい歌ばかり。ホールと一体になったの大合唱となりました。舞



学生ボランティアの活躍

順天堂大学の学生による司会進行や、「子ども記者体験」ゲームコーナーを担当した東京成徳大学・佐倉西高・白井中学の学生、体験コーナーには志津中学の学生の参加がありました。またボランティアのブースでも、多くの子どもたちが明るく元気に来場者に声をかける姿が見られました。着実に若い世代の参加が増え、つどいを活気づけていました。「いつでも手伝います。声かけてください」と力強く話してくれました。

ボランティアの輪よ、ひろがれ!!

つどいのチラシを読売新聞ユーカリが丘販売所が折り込み配布してくだ



さったり、ユーカリ郵便局、西志津郵便局から使用済み手収集箱の設置の申し出があったりと、地道な活動ではあるがこつこつと努力してきた結果が、各方面に広がっています。すこしずつ「つどい」が地域に定着し、広がりを実感することができたうれしいできごとでした。（V連会長）

行事予定

- 3月 11日 第5回共同募金会 理事会
- 5月 18日 第6回理事会
- 5月 18日 第5回評議員会
- 7月 7日 社協説明会
- 8月 8日 社協説明会

社会福祉協議会（社協）は、みなさまの会費で運営されています。

「佐倉の町を良くするしくみ」へのご協力ありがとうございました

平成22年度 歳末たすけあい運動

Table with 2 columns: 募金種別, 金額(円). Rows include 戸別募金, 街頭募金, 法人募金, etc.

平成22年度 赤い羽根募金運動

Table with 2 columns: 募金種別, 金額(円). Rows include 戸別募金, 街頭募金, 法人募金, etc.

平成22年度共同募金の報告
おかげさまで今年も
あたたかいご協力をいただきました
昨年10月から12月末までの3ヶ月間、共同募金運動に市民のみならずの多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。

平成22年度 歳末たすけあい配分報告

(1) 在宅支援金

Table with 4 columns: 区分, 対象世帯数, 金額(円). Rows include 一般低所得, 母子・父子世帯, etc.

(2) 在宅福祉サービス(おたすけくん)

Table with 3 columns: サービス内容, 利用世帯数, 金額(円). Rows include おせち料理, 電球交換, etc.

(3) 民間社会福祉施設等支援

Table with 3 columns: サービス内容, 対象件数, 金額(円). Row: 民間社会福祉施設等

【配分額】 12,541,410円

- (1) 在宅支援 726世帯 8,560,000円
(2) 在宅福祉サービス 516世帯 2,768,650円
(3) 民間社会福祉施設等 24施設 840,000円
(4) 事務費 372,760円

・配分額が募金額を上回っていますが、差額は前年度からの繰越金より充当しています。

平成22年度 会費納入状況一覧

Table with 5 columns: 地区名, 一般会費, 特別会費, 賛助会費, 合計. Rows include 佐倉西部, 佐倉東部, etc.

目標額 16,300千円 20年度募金 実績額 19,610千円

地域配分 9,780千円+3,310千円 (目標額の60%+超過分)
広域配分 6,520千円 (目標額の40%)
21年度の事業費として 13,090千円が佐倉市社協に還元
県内の社会福祉施設や団体へ

20年度募金による21年度事業報告 (単位:千円)

Table with 3 columns: 事業名, 金額, 内容. Rows include ネットワーク事業, ボランティアセンター運営, etc.

千葉県の共同募金のしくみ

千葉県共同募金会が県内の施設や福祉団体等の要望を伺い、年度の募金目標額を決めます。さらに市町村の人口規模や世帯数、諸々の条件等を勘案して各市町村の募金目標額を決めます。

平成22年度 法人・団体会員名簿

H23年2月9日現在 (敬称略)

Table with 2 columns: No. 法人名, No. 法人名. Rows include (株)旭鶴, イオンリテール(株), etc.



ボランティア活動を応援します

ボランティア活動助成事業募集要項

平成23年度のボランティア活動助成対象事業を募集いたしますので、下記の要領でご応募ください。

1. 助成対象事業・助成金額と件数

①公開研修事業

1件あたり上限額 10万円(3事業以内)

②新設団体運営支援事業

1件あたり上限額 3万円(10団体以内)

③活動助成事業

1件あたり上限額 8万円(15事業以内)

社会福祉協議会が示す推奨テーマに添った事業であること。(推奨テーマについては下記表参照)

2. 助成対象者

(1)センターに登録している団体であること

(2)申請時において、センター登録後12ヵ月以上経過していること

(3)営利目的ではなく自主的な公益性のある活動で、自助活動でないこと

(4)宗教的、又は政治的活動を目的としていないこと

(5)5名以上の団体で、主たる活動場所が市内であり、なおかつ構成員の半数以上が市民であること

(6)独自の財源で運営されていること

(7)会則を制定し、帳簿により会計を適正かつ明確にしていること

3. 受付期間

平成23年4月1日(金)～5月13日(金)

4. 選考

佐倉市社会福祉協議会ボランティア活動助成対象選考委員会の選考を経て決定いたします。選考結果は平成23年7月上旬に文書で通知いたします。

5. 報告

事業終了後10日以内に報告書を提出してください。

6. 申込み方法

助成金申請書に必要事項を記入の上、下記までお持ちください。

- ・添付書類(活動計画書、予算書、会員名簿、会則)
- ※書式は社協ホームページからもダウンロードできます。

提出先・詳細についてのお問合せ
♪佐倉市ボランティアセンター♪

〒285-0013 佐倉市海隣寺町87番地

Tel 043(484)6198 Fax 043(486)2518

e-mail vc@sakurashakyo.or.jp

URL http://www.sakurashakyo.or.jp

推奨テーマ

1	在宅生活を支える活動
内容	地域には高齢者や障がいのある方も含めて子どもから大人まで様々な人々が暮らしています。誰もが自分らしく安心して生活をおくることを支援するボランティア活動。
2	社会的孤立を防止する活動
内容	不登校、いじめ、高齢化、障がいなど「生きづらさ」を感じている人が年齢を問わず増加している今、当事者の気持ちに寄り添い安心感を与えながら、そのひとが地域に根ざした生き方ができるような支援をするボランティア活動。
3	経済的困窮に起因する諸問題に寄り添う活動
内容	低所得に起因する生活上のことで当事者の心配ごとや困りごとを身近なこととして受け止め、信頼関係を築きながら精神的な支えとなれるように支援するボランティア活動。当事者が地域で安心して暮らすことができるように支える。

ボランティア登録のお知らせ

平成23年度のボランティア登録申請と保険加入の受付を下記の会場で行います。

・3月28日(月)～4月1日(金)
佐倉市ボランティアセンター

・4月2日(土) 9:00～12:00
西部地域福祉センター

・4月3日(日) 9:30～16:30
佐倉市市民広益活動サポートセンター

※佐倉市ボランティア連絡協議会の会員登録も同時に受付いたします。

問合せ：佐倉市ボランティアセンター

Tel 043(484)6198



いきいきサロンと歯科健診をミックスした、地区社協としては初めての取り組みが昨年の12月22



「いきいきサロン」で歯科健診

佐倉東部地区社会福祉協議会

日ミレニアムセンター佐倉で行われました。健診は歯の健康を維持するだけでなく、口腔機能をチェックし、適切な食生活を中心とする健康の維持・増進や介護予防にもつながります。これは、佐倉東部地区社協主催のいきいきサロンと印旛郡市歯科医師会との協働により、歯科衛生士会の協力を得て実現したもので、多くの高齢者が参加されました。

クリスマスが近づいた寒い日にもかかわらず、当日は60人近い高齢者が集まりました。普段歯医者さんでは歯の治療が中心で、咀嚼(噛み砕くこと)や嚥下(飲みくだすこと)などの口の中の働きはあまり気にされない人が多いので、歯の健康診断は新鮮で関心が高い様子が見られました。歯科医師会から3人の歯医者さんと歯科衛生士会からは6人がボランティアで参加し、大勢の高齢者を一人ひとりチェックしていただきました。歯の健康を保つためにはどうしたらよいか、歯の磨き方などの質問にも丁寧に答えていただきました。また、1分間にどれだけ口や舌を動かすことができるかなどの口腔機能は歯科衛生士さんが担当し、1時間余りで全員

の健診が終わりました。健診が終わった後は福祉委員手作りの料理が振る舞われ、診てもらったばかりの歯でピーフンチューやロールサンドなどを頬張っていました。

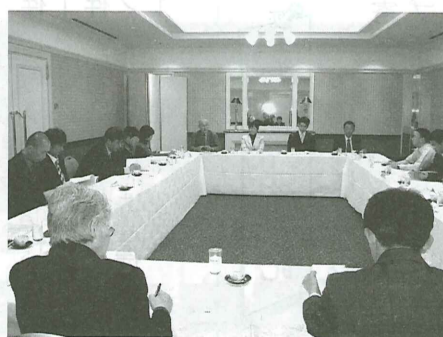


第4次佐倉市地域福祉活動計画の素案がほぼまとまりました。第4次計画は、第3次計画の基本理念「わたしもあなたもいっしょにつくる いきいきと暮らせるまち佐倉」を引き継ぎ、4つの重点目標と42項目にわたる取り組みの方向を示したものです。この中から市社協・地区社協や自治会・町内会等、また、民生委員やボランティア、各地域団体などが実施主体となり、152の活動メニューに取り組みます。策定委員会の委員や職員が各地区社協や民児協等の定例会に出席し、意

素案まとまる

「わたしもあなたもいっしょにつくるまち」

見募集の説明会を開いています。1月26日には佐倉市社会福祉施設協議会の定例会で左奈田委員長が概要を提示し、意見を求めました。また、2月9日から社協ホームページ等で広く市民からのパブリックコメントを求め、3月中旬には最終案が答申されます。



快適・安心・安全をお届けします
ジャスコ&旬鮮館と32の専門店

レイクピアウスイ
京成臼井駅前
〒285-0837
佐倉市王子台1-23 Tel 043-461-1871

爽やかに、笑

テオ印刷
佐倉市錦木町1137-4
☎ 043(484)0321(代)
http://www.teo.co.jp

福祉総合相談所

●心配ごと相談(民生・児童委員)
☉月曜日 ☉水曜日 ☉金曜日
10:00~15:00

【相談場所】

- ☉社会福祉センター2階
TEL(484)6199
- ☉西部地域福祉センター2階
TEL(463)4433
- ☉南部地域福祉センター1階
TEL(483)7211

●法律相談(弁護士)

【相談場所・日時】

第4月曜日 10:00~15:00
抽選で8名まで
社会福祉センター2階にて受付
(9:30に抽選します)

●介護生活相談 TEL(484)6196

●貸付相談 TEL(484)6200

●ボランティア相談
TEL(484)6198

【相談場所・日時】

社会福祉協議会事務局又は
ボランティアセンター
月~金曜日 8:30~17:00
※祝日は相談を行いません。

【問合せ先】

相談援助班 TEL(484)0698

寄附者ご芳名

(敬称略)

(平成22年11月1日~
平成23年1月31日)

寄附者氏名・団体	金額(円)
市民カレッジ三期生 グループななはん	11,010
佐倉市朝市出店者組合	68,300
ワンコイン チャリティダンス	30,000
佐倉市シルバー人材センター カラオケ同好会	22,061
中村 ふみ子	92,500
合計	223,871

ありがとうございました。福祉事業に活用させていただきます。

とも歩むふくしプランⅡ -第4次佐倉市地域福祉活動計画- 推進委員会 委員募集

- ・資格：市内在住で4月1日現在満20歳以上の方。
- ・任期：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで。
- ・募集定員：4月1日現在満20歳以上の方 1名
- ・応募方法：小論文「私たちのまち いきいきと暮らせるまち」(800字程度)に、申込書(住所、氏名、年齢、電話番号、応募理由を記入。書式自由)を添えて郵送のこと。
- ・締切り：平成23年3月25日(金) 当日消印有効
- ・申込み・問合せ：佐倉市社会福祉協議会 まちづくり推進班
〒285-0013 佐倉市海隣寺町87番地
TEL 043(484)6198

環境の良い職場で地域のために活動してみませんか

～訪問介護員募集～

佐倉市内に居住する方で介護福祉士、または訪問介護員1・2級研修を修了した方を募集しています。ご希望の方は指定履歴書に必要事項をご記入の上資格等の写しを添付してお申し込みください。履歴書は事務局または本会ホームページ上にあります。採用は書類選考と面接試験により決定します。詳しくは下記までお問い合わせください。

申込み・問合せ：佐倉市社会福祉協議会
TEL 043(484)6197 FAX 043(486)2518

くらしと仕事の 総合案内所

千葉県求職者総合支援センター

経済情勢の悪化で離職を余儀なくされた方等の生活安定と再就職の支援のため、千葉県と国(ハローワーク)が協力して行う生活と就職の総合案内所です。ご利用は無料です。ご質問・ご相談などお気軽にお問合せ下さい。

住居の相談

住宅に関する情報提供など

就労相談

応募書類や面接支援、職業訓練に関する情報提供など

生活費の相談

公的資金貸付窓口の案内など

職業相談・紹介

ハローワーク求人検索や相談、紹介など

TEL 043(245)9420

FAX 043(245)9421

〒260-0028

千葉市中央区新町3-13

駅前プラザ(千葉TNビル)3階

○利用時間

【月曜日~金曜日】9時~17時

【土曜日】10時~17時

○休館日

日曜・祝日、年末年始

※詳しい情報はインターネットでもご覧いただけます。

http://www.chiba-ksc.com

第6回ふくしまつり

内郷地区社会福祉協議会

- 日時 3月13日(日) 10時~15時
- 会場 ミレニアムセンター佐倉(入場無料)
- 1階 和太鼓演奏、野菜販売、折り紙・けん玉
- 2階 演芸発表(ホール)、出店販売
- 3階 バザー、作品展示、福祉施設紹介
- 4階 軽食、キッズコーナー(駄菓子販売など)



問合せ 内郷地区社協 TEL(486)5690

◎千葉県支部
TEL 043(204)8256

善意銀行預託・払出し

自22.11.1
至23.1.31
敬称略

【金銭預託】	【物品預託】
(株)小川園 500円	(和田地区社協へ) 宮ノ台一・二・三・四・五丁目自治会 六、〇〇〇円
おやじの食事学同好会 300円	(ユーカリが丘地区社協へ) 波多野稔夫 四〇、〇〇〇円
七彩会 300円	(志津地区社協、佐倉市社協へ各2万円)
積善会 300円	【金銭払出し】
チャリティフリーマーケット実行委員会 200円	帰宅旅費 10件
千葉土建一般労働組合佐倉支部 200円	災害見舞金 40件
蜂谷淳子(二回) 550円	【小口貸付】
佐倉城下町茶道会 500円	吉田絹子 紙おむつ(多数)
ダンスサークル 佐倉花みずき 500円	桜井秀雄 紙おむつ、防水シート
ユネスコ英会話 100円	鈴木志保子 ポータブルトイレ
牧野久男 200円	木村正義 ポータブルトイレ
ごちそうさま 200円	安田裕代 リハビリパンツ、尿取りパッド
六戸賢一・美智代 200円	匿名 ポータブルトイレ、フェイスタオル、洗濯機、紙おむつ2件、他3件
上志津三地区町会文化部 200円	【物品払出し】
匿名 700円	紙おむつ26件、尿取りパッド18件、杖7
匿名 500円	件、シルバークーラー4件、車イス1件、防
匿名 500円	水シート3件、毛布2件、布団シート2
匿名 500円	件、ポータブルトイレ1件、洗濯機1件、
匿名 500円	電子レンジ1件、他
和田ふるさと好友会 300円	

認知症 ひとりでも悩まず地域とともに

公益社団法人 認知症の人と家族の会からのお知らせ

わが国の認知症の人は約208万人。30年後には385万人に増加すると見込まれています。認知症は高齢者に多く見られますが、30~50歳代で発症することもあり、このような若年認

編集後記

私の誕生日に、春の花の寄せ植えを娘夫婦・孫からプレゼントしてもらった。その中に咲いている、黄色の小さなラッパ水仙を口と耳にあて「もしもし、ばばですか?」と話す5歳の孫。

家の音は無く、親の携帯電話を見て育った子が、明治時代の電話で話すように。空いた片手で何かをしなからではなく、両手を使って真剣に話すその姿に、私も水仙の電話で「はい、お花ありがとうございます」と答えた。